



11月号

令和5年11月1日

神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童293名 16学級

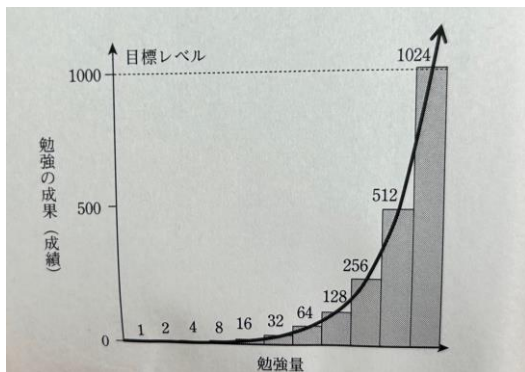


努力することの大切さ

先月14日には、多くの来賓の皆様をはじめ、地域の皆様にご来校いただき無事開校150周年記念式典を挙げる事ができました。第一部は厳粛な雰囲気の中5・6年生が立派な態度で参加しました。第二部では、児童委員会やブラスバンドクラブ、6年生の活躍もあり、大変盛り上がったものになりました。子供たちの成長を実感することができました。11月も音楽会や、修学旅行等様々な学校行事がありますが、子供たちの成長に期待しています。

脳研究者の池谷裕二先生の著書によると勉強の量と勉強の成果は、一つずつ積み上がっていくものではなく、掛け算のように勉強の成果はどんどん大きくなると述べられています。(資料1)例えば成績が1のところにあるとします。勉強続けていくと成果が上がり2になります。さらに勉強すると4になります。努力を続けていくと、成績は8、16、32、64と効果が見えるようになっていきます。目標を1000と定めた場合、64であるとあまり成果が出てないようにも思いますが、粘り強く努力を重ねることで128、256、512と上昇し伸びていく量が増えていくそうです。脳科学の分野からもこのようなことがわかっているそうです。こうして考えてみると、物事を習得することや勉強することにおいて、大切な事は「努力の継続」ではないでしょうか。努力を続けることで初めて報われるわけですが、なかなか結果が現れないことも多いと思います。すぐにあきらめるのではなく、子供たちが目標に向かって続けられるようにサポートしていくことが親や教師の役目なのかもしれません。学校では様々な学習活動に取り組みます。一人一人の子供に「努力の大切さ」を教え、「努力して何かを成し遂げた」という経験を積ませたいと考えています。この経験をもとに、自分に自信を持ち成長して行って欲しいと願っております。保護者の皆様にもお子様が何か努力している姿を見ましたら、褒めたり励ましたりしていただければ幸いです。

2学期も後半となりますが、保護者の皆様と力を合わせ、子供たちをよりよく成長させていきたいと考えております。今月もよろしくお願いたします。



資料1 『記憶力を強くする』池谷裕二著

3階にある卒業生からのメッセージ

明治6年開校 やる気と根気で夢をかなえる神根っ子

かしこい子
みんな仲良く
助け合う子
おぼりづよい子

150
ANNIVERSARY

川口市立神根小学校